

平成22年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

人権推進課（内線：7590）→事業実施：人権・同和対策課

1目 社会福祉総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりユニバーサルデザイン推進事業費	2,210	2,497	△287	1,803			407	
トータルコスト	10,278千円（前年度10,782千円）[正職員：1.0人]							
主な業務内容	企画、関係機関協議、契約、募集・PR、会場設営・運営							
工程表の政策目標(指標)	—							

事業内容の説明

1 事業の概要

- ・ユニバーサルデザインの推進は、鳥取県人権施策基本方針の基本理念の1つ。
- ・旅館、ホテル等のサービスにおける実践を促進し、出前授業等で理念を普及。

【参考：UDとは】

ユニバーサルデザインとは、もともとは「障がい、年齢、性別、言語など人の差異に可能な限り無関係に、誰にでも利用しやすいように製品、建物、環境などをデザインすること」。

しかし、近年では、社会の仕組みや制度づくりも含めて、地域社会全体にまで発展させることが考えられている。

2 主な事業の内容

区分	予算額	事業内容
1 ユニバーサルデザイン出前授業	406	学校教育と連携し、学校教育現場において児童・生徒のユニバーサルデザインの理解を促進する出前授業を開催する。
2 ユニバーサルサービス研修	773	旅館、ホテルなどのサービス業種を対象として、あらゆる人の立場に立って公平なサービスを提供する「ユニバーサルサービス」について、当該業種の職場を用いるなど実践的な研修会を開催する。
3 ユニバーサルデザイン出前講座	17	企業・地域・公民館においてユニバーサルデザインについて説明する出前講座を開催する。
4 ユニバーサルデザイン啓発キャンペーン	1,014	県内開催の各種イベントにおいて、UD製品や啓発パネルの展示とUDグッズやリーフレットの配布によって理念の普及啓発を図る。

3 これまでの取組状況、改善点

- (1) 昨年度から始めた出前授業によって、児童・生徒の理解を促進することができた。
平成22年度は、昨年度希望校が多かったことから募集校を増やす。
- (2) サービス研修によってサービス業での実践を促進することができた。
- (3) 啓発キャンペーン、出前講座によって、幅広く多くの県民に啓発することができた。